

図書館だより

2023年5月号
No.011



司書の角井です！

そろそろ学校に慣れてきましたか？

疲れも出てくる頃かと思います。

休み休み、自分のペースで日々を歩いていってくださいね。

もう5月も半ば、今の時分にぴったりな物語をご紹介します。
太宰治の『葉桜と魔笛』です。（『女生徒』913.6/D2F 日本作品）

【葉桜】というのは、花が散って、新緑が美しい桜の木を表す初夏の手語です。
お話は、病気の妹の秘密を知った姉がやさしい嘘をつくという内容で、
ほの暗い病床と瑞々しい葉桜の対比が美しく描かれています。

みなさんが太宰に持つイメージより、ずっとロマンチックな印象を受けるのではないかと思います。

見開き6ページにも満たない短編なので、気軽に挑戦してみてくださいね。

・・・さて、物語の最後に口笛を吹いたのは、一体誰だったのでしょうか。

みなさんはどう思いますか？

読んだらみなさんの考えを教えてください。

今月も図書館に新しい本が入ってきました！

その一部をご紹介します

場所は1階の図書館カウンター前です◎

5月の 新着図書



そのほかにもたくさん！
早速チェックに行こう！

だが、 小説はある

現在放送されているドラマにちなんで、
芸人さんの著書をおすすめしました！



1階では展示が
もりださん!!

そのままのあなたが素敵だよ

疲れが出るこの季節に、本でほっこりしませんか？
「自分は自分でいいんだ」と思える本で、きっと心が癒されますよ◎

誰にも見つからずに
泣いている君は優しい

原田あき／著

まるまる顔色カオスの洪水に
溺れる「よいこのための悪い
絵本」。どんなに暑夏でも、
どんなにハードでも、泣きなが
ら笑う。希望と慰めと「転
んでまた立てては起きない」女
の強さがこの本にはある！

請求記号 159/H

4F：生きた、ということ

学校では教えてくれない
自分を休ませる方法

井上祐記／著

休むことは「悪」でも「負け」で
もありません。本当の意味で
自分を休ませるとはどういう
ことなのか。ネガティブなイ
メージではな、問題解決の
手段としての「休み」の提案
をします。

請求記号 146.82/I

4F：生きた、ということ

家にいるのに家に帰らない

クオン・ラビン／著

不安やまとい、どうにもで
きないさびし、愛すること
の痛みと幸福、たとえようの
ない感情にそっと寄り添って
くれる一冊。「自分らしくい
たい」あなたの自己肯定感を
きとち高めてくれます。

請求記号 929.14/K

4F：生きた、ということ

大切なことに気づく365日名言の旅
WRITES PUBLISHING／編

あなたの誕生日は、誰の名言
だろうか？1月3日なら坂本龍
馬、3月14日ならアインシュ
タイン……その日に生まれた偉
人から、365日、心が癒され
る言葉をもらえる一冊。世界
各地の絶景にも癒されます。

請求記号 159.8/W

4F：生きた、ということ

ぐるぐる考えてしまう心の
クセのおとし方

清水 栄司／著

無理にポジティブになろうな
んと思わなくても大丈夫。必
要なのは「考え方のクセ」を
少し変えることだけです。考
え方と行動を無理なく変えて
生きやすくなるコツをお教え
します。

請求記号 493.72/S

4F：生きた、ということ

図書館からのお知らせ

学校や家から図書館の資料を検索できるサイト

『OPAC』をぜひ活用してください！ → → →

<https://kokusai-h.opac.jp/> ID:OJUS pass:library



14歳の
世渡り術

「知ることは、生き延びること。」
というキャッチコピーのもと
創刊されたシリーズ！

